

牛頸区ホームページ : <http://www.kouminkan.info/onojo/ushikubi/>

牛頸区ホームページは大野城市と南コミュニティホームページのリンク集からもご覧になれます

【六月の行事報告】

●平野小アンビシヤス広場

平野小放課後の児童の居場所をつくります。児童同士だけでなく、地域の人との交流を図り、自由な遊びや様々な体験活動などの居場所を提供することを目的として始まりました。

五月から始まったアンビシヤス広場、若草区と隔月で木曜日・金曜日開催を担当し、九十名程度の児童参加で推移しています。二五年の牛頸区は偶数月が当番で、六月が当番となりました。コーディネート者の指導のもとボランティア3名が見守りをしました。

●ホタル部会交流会

五月二〇日から六月一六日まで続いたホタル会場のホタル部会当番も終わりました。今年は昨年と比べホタルの飛翔が少なく見物の方は少しかかりました。期間は六月六日に部員三〇名と関係者の交流会が開催されました。大野城市の観光名所となった牛頸のホタルもボランティアの地道な活動に支えられています。

●水源祭

大野城市の水源としての役割を担う牛頸ダム、自然の恩恵と水の恵みに感謝し、災害なきことを祈る水源祭が六月八日おこなわれました。今年も雨季を迎え、水源のダムに水が満たされ、豪雨など水害なきことを願っています。

●春季花苗植替え

今年初めて土曜日、六月十四日午後には花苗植替えを実施しました。平野小が児童の地域活動に参加を推進していることもあり土曜日実施とし、教頭先生も参加されましたが、児童参加は2名と結果が良かったです。好天に恵まれた作業でしたが、午後からの作業は暑く、大変でした。

3ヶ所(公民館・ダム記念館・牛頸浄水場前)の作業に十の部会やボランティアの方々五十名位が参加されました。感謝申し上げます。

●地域福祉推進員合同研修会(第22回リーダー養成講座)

二八日午前は社会福祉協議会から「東日本大震災復興支援について」と題し、東北視察の報告があり、午後から福祉推進委員・農協婦人部・執行部と合同の講座が開催されました。



【区からのお知らせ】

「認知症ってなに・・・！」と題して地域包括支援センターから講師が来られ認知症を理解し、地域で支えることを学びました。

●牛頸区ふるさとボランティア募集

区の行事にお手伝いをしてみませんか？空いている時間でボランティアをして頂ける方を募集しています。アンビシヤス広場・花苗植替え・盆踊り参加など希望の行事や催事へお手伝いを募集します。詳しくは公民館へお問い合わせください。

●青パト乗務員募集

平日の午後二時半から四時半まで、小学校の下校時間に合わせて南コミで青パトの運行をしています。牛頸区は七週に一度、一週間の当番を受け持ち、地域の安全安心を担って南コミ地区を回ります。青パト乗務のお手伝い出来る方は公民館へご連絡ください。

●盆踊り練習のご案内

七月一三日(土)に大野城市総合体育館で盆踊り講習会が開催されます。当日講習会後の午後1時半からと七月一八日、八月一日午後7時半から各2時間程度、牛頸公民館集会所で盆踊り練習を開催します。区民の皆様、子供から大人まで奮ってご参加ください。お待ちしております。

【七月の行事予定】

- 七月は「同和問題啓発強調月間」です。
- 三日 あいあいくらぶ
- 六日 公民館運営協議会
- 七日 南コミビーチバレーボール大会
- 一〇日 第5回大野城市安全安心まちづくり推進大会
- 一二日 コミュニティ別人権・同和問題研修会
- 一三日 盆踊り講習会と練習
- 一四日 区ユニカール大会
- 一八日 平野神社「およど」
- 一八日 盆踊り練習
- 二六日 牛頸ふれあい会
- 八月一日 盆踊り練習

スエちゃん牛頸ばなし

第七十八回 牛頸の民話(五)



深さを測れない底なし沼 平野小そばのイガイ牟田池の話です。ある時牛頸村の伊三郎(いさぶろう)が天狗の松の下を通りかかると、上から天狗が「おい、伊三郎よ、イガイ牟田の深さは測ってみるか、誰も測れんごと深かぞ」と言われ、伊三郎は「ようし、わしが測っちゃる」と家の近くの竹を切って三尺三寸の竹のホコ(槍みたいなもの)を百本作って池へ持って行き測り始めました。が百本目のホコもズブズブと池の中へ沈みました。

伊三郎は「わあ、こりやすごか底なし沼じゃ」とあきらめて家に帰りまし。その後、その場所を「ホコたて」と呼ぶようになり、そのあとは「ホコデ」と地名が変わりました。イガイ牟田池の南の端のあたりです。

竹田 準

